



平成30年9月25日

各 位

会 社 名 大黒屋ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993 東証第二部)
問 合 せ 先 財務経理部長 大村 正文
(TEL. 03-6451-4300)

**Beijing XinBang Daikokuya Trading Corporation, LTD への貸付実行及び
第三者割当による新株式の発行及び第18回新株予約権による調達資金の
資金用途の変更に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、CITICとの合弁会社である Beijing XinBang Daikokuya Trading Corporation, LTD (以下、「信黒屋」といいます。) への貸付の実行及び平成30年7月2日付「第三者割当により発行される新株式(金銭出資及びデット・エクイティ・スワップ)、及び第18回新株予約権に関するお知らせ」にて開示いたしました資金用途の一部を、下記の通り変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 信黒屋への貸付金の概要

貸付金の額：3百万人民元(約50百万円)

貸付の期間：平成30年11月1日から平成31年10月31日

利息：7.00%

資金の用途：信黒屋での在庫取得資金

2. 資金用途の変更理由

平成30年7月2日付け開示におきましては、CITICとの合弁会社である信黒屋の在庫取得資金につきましては、第18回新株予約権の行使による資金にて対応する予定でしたが、在庫取得資金を早急に投入するため、第三者割当により発行された新株式による調達資金により、信黒屋への貸付を行うことにより対応してまいります。その結果、当社及び当社

グループの運転資金の調達は、信黒屋への貸付相当額を、第18回新株予約権による調達資金にて充当することといたします。

2. 変更の内容

変更前（新株式）

変更前 株式により調達する資金の具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
当社及び当社グループの運転資金	244	平成30年7月～平成31年1月
中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technology(Beijing)Co.,Limited への出資金（会社設立費用、人材採用費）	5	平成30年7月
合 計	249	

変更後

変更後 株式により調達する資金の具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
当社及び当社グループの運転資金	194	平成30年7月～11月
中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technology(Beijing)Co.,Limited への出資金（会社設立費用、人材採用費）	5	平成30年9月
CITICとの中国合弁会社の在庫取得資金	50	平成31年10月
合 計	249	

変更前（第18回新株予約権）

変更前 新株予約権により調達する資金の具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
大黒屋グローバルの100%子会社化のための株式買取資金	840	平成30年7月～平成32年6月
大黒屋グローバルへの貸付金（英国SFLグループへの貸付金（在庫の取得資金））	420	平成30年7月～平成31年3月
LWへの貸付により、EC・モバイル向けグローバルに一元化された関連システムの運営費（広告費、人件費、システム維持費）	412	平成30年7月～平成31年2月
CITICとの中国合弁会社の在庫取得資金	250	平成30年7月～平成31年2月

中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technolgy(Beijing)Co.,Limited への出資金（運転資金）	22	平成 30 年 10 月 ～平成 31 年 3 月
当社及び当社グループの運転資金	67	平成 31 年 1 月～ 3 月
合 計	2,011	

変更後

変更後 新株予約権により調達する資金の具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
大黒屋グローバルの 100%子会社化のための株式買取資金	840	平成 30 年 10 月 ～平成 32 年 6 月
大黒屋グローバルへの貸付金（英国 S F L グループへの貸付金（在庫の取得資金））	420	平成 30 年 10 月 ～平成 31 年 3 月
LWへの貸付により、E C・モバイル向けグローバルに一元化された関連システムの運営費（広告費、人件費、システム維持費）	412	平成 30 年 10 月 ～平成 31 年 5 月
C I T I Cとの中国合弁会社の在庫取得資金	200	平成 30 年 10 月 ～平成 31 年 5 月
中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technolgy(Beijing)Co.,Limited への出資金（運転資金）	22	平成 30 年 10 月 ～平成 31 年 3 月
当社及び当社グループの運転資金	117	平成 30 年 11 月 ～平成 31 年 3 月
合 計	2,011	

3. 今後の見通し

業績に与える影響につきましては現在精査中であり、影響等が認められた場合には、影響額が明確になった時点で、その影響額をお知らせいたします。

以上